



平成 20 年度「図書館の目標」を策定しました

<基本目標> 市民の課題解決や暮らしに役立つ情報を提供し、積極的な図書館サービスを展開します。

ここでご紹介しているのは、中央図書館と 17 の地域図書館が進める事業の内容と取り組み姿勢について取りまとめた「平成 20 年度図書館の目標」の概要です。全文は市立図書館 18 館の掲示又は市立図書館ホームページでご覧いただけます。

目標 1 利用者にとって、より便利で快適な図書館を目指します。

- ・インターネットや利用者用検索機からの雑誌の予約受付開始や、保土ヶ谷図書館の耐震補強等再整備工事の実施により、安全で快適な環境づくりに努めます。
- ・身近な公共施設(行政サービスコーナーや地区センター、駅)での図書の貸出・返却の試行を進めます。

目標 2 市民の調査研究を支援するとともに、図書館からの情報発信に努めます。

- ・図書館ホームページや@Lib、広報よこはま等を活用し、市民への広報を充実させます。
- ・開港 150 周年記念や横浜線開通 100 周年記念等の関連で、様々な企画事業を実施します。
- ・Eメールでレファレンスを受け付けるなど市民の調査研究を支援します。



横浜純宅之図 五雲亭貞秀 1861 (中央図書館所蔵)

目標 3 「横浜市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動の推進に努めます。

- ・おはなし会や読み聞かせの講習等を通じ、子どもの読書推進や図書館利用を促し、読書を支援します。
- ・講座等により読み聞かせ等ボランティアの養成・支援を進め、市民との協働を図ります。
- ・司書による学校訪問等により、学校教育及び学校図書館を支援します。



小学生による図書館訪問では、館内見学以外にも、本の並び方の説明やおはなし会を行います。

目標 4 これからの図書館を視野においた取り組みを進めます。

- ・「横浜市立図書館のあり方懇談会」の提言を踏まえ、これからの図書館運営にふさわしいサービスのあり方と効率的な管理運営手法を検討し、導入計画を策定します。

目標 5 図書館スタッフのレベルアップを行います。

- ・親切・ていねいな窓口対応に努めるとともに、知識・技能の習得を進めます。